プレゼンテーション法（２単位）

担当者氏名　佐藤孝吉・中村幸人・武生雅明・山﨑晃司・福永健司・橘隆一・上原 巌・菅原 泉・田中恵・今冨裕樹・矢部和弘・大林宏也・江口文陽・瀬山智子・宮林茂幸・関岡東生・矢口行雄・本橋慶一

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

指導教員による指導内容および指導に要した時間数の記録を行い，研究発表（オーラルもしくはポスター）の方法を習熟する。所定時間，あるいは所定枠内に簡潔にまとめる能力，理解されやすい発表の組み立て方，図・表のわかりやすい表示の仕方を十分に習熟し，聴衆に理解してもらえるようにする。本人による研究発表が目標となるが，年に一度の専攻内での中間発表会もそのステップのひとつとなる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

要旨作成　パワーポイント　ポスター作成　口頭発表　英語による発表

◆授業の進行等について

	テーマ	内　容	準備学習（予習復習）等の内容と分量
1	ガイダンス（第 1 週）	講義内容の説明	
2	講演要旨作成法（第 2 週）	簡潔明瞭な要旨の作成 分かりやすい図表作成	
3	図表の作成法（第 3 週）	パワーポイントの使用を習熟する	パワーポイントソフトの入ったパソコンを準備する
4	パワーポイント利用法（第 4 週）	理解されやすい口頭発表原稿やポスター原稿の作成	
5.6	発表原稿の作成法（第 5,6 週）	今までの基礎知識を元に中間発表原稿と要旨を作成する	大型印刷イメージプログラフの使い方
7.9	中間発表会の原稿，要旨の作成（第 7～9 週）	発表と質疑応答の仕方を学ぶ	
10	発表練習（第 10 週）	修士論文に関する中間の発表を行う	
11.12	中間発表会（第 11,12 週）	発表した内容について問題の整理	
13	中間発表の問題整理（第 13 週）	発表に向けた要旨，原稿を作成し，発表練習を行い，学会などで発表する	
14.15	学会等への発表（第 14,15 週）		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

担当教員より事前に周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

担当教員より事前に周知する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

発表手法の習得状況（30 点），　中間発表の内容（50 点）、学外での発表（20 点）で評価する。

◆オフィスアワー

担当教員より事前に周知する

◆その他受講上の注意事項

学内の中間発表会の結果を踏まえて，学会など学外での発表を準備すること。